

## チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念を文書(会社案内等)で明文化し、その実現のための「社訓」を定めて朝礼等を通じて全社員で共有し意識の統一に取り組んでいる。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		表示規約等関連法規に準拠して法令順守をし、また様々な分野で法令順守が求められるため、マニュアルを作成して全社員で共有するように取り組んでいる。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不正競争防止法等の規定(営業秘密・信用の保護等)に準じて全社員で共有している。											10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		住まいづくりが社会・環境に及ぼす影響を、設計・建築の段階で工務部門がチェック・把握する体制を整備している。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		自社商品である「家賃そのまま住宅」「家賃そのまま店舗付住宅」の商標登録済。また他社商品等を取り扱う際は知的財産権の内容を調査し、使用時は了解を取得する等他社権利保護にも取り組んでいる。								8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		契約いただいたお客様の個人情報保護については書面で適正に保護する旨の承諾書を受領し、一元管理を行っている。併せてデータベース化してパソコン内に格納している。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		商談時からあらゆる利害関係者と対話し、当社活動が関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している。また顧客の声を聞き細やかに対応するため、ホームページ上に「お問い合わせ欄」を設置している。																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		業者組織「千里会」を結成し共同して家づくりを行うことによって、作業面だけでなくモラル面も含めて相互理解と信頼関係を醸成しながら協働している。					5			8	10	12	13	14	15	16	17				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		事業継続計画を作成し、地震や台風等の経験を踏まえ、非常時の訓練や備品の管理等も行っている。								9	11	13.1								16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		株主総会時に、次年度以降の代表取締役についての協議を行っている。							8	9											17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		提携取引業者間との交渉を交え、適正価格での取引に取り組んでいる。	1	2			5			8			12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		社内において、性別や年齢等に関係なく個人の意見を尊重して仕事が分配されている。又、問題発生時には上司との連携を図り、問題解決に取り組む体制を取っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		業者組織「千里会」において、毎月の打合せ、年1回の安全大会を実施することにより、安全で衛生的な労働環境づくりに関する意識統一と環境の整備に取り組んでいる。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		就業規則で雇用形態に関わらず「同一労働・同一賃金」の原則が規定されている。合わせて、社内評価を年に2度実施し、仕事の成果と賃金の公正さを保つようにしている。					5.5			8.5 8.8	10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		毎月の勤務予定を1ヵ月前に申告し、合わせて残業時間の管理徹底や有給休暇取得の奨励も含めて仕事量の管理を行っている。			3		5.5			8.5 8.8	10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		OJTの推進(資格取得手当の付与あり)を推奨すると共に、全体会議後に外部講師による勉強会や部門内研修を定期的に行い専門スキルの向上に取り組んでいる。			4		5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		従業員のインフルエンザワクチン接種を会社での費用負担としているほか、年に一度の健康診断の実施と、安心財団加入による労働保険の適用により、従業員が心身の健康を維持できるようにしている。			3					8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		男女問わず、豊富な知識・技術を持つ高齢者も雇用して、十分に活躍できるような環境整備を行っている。また、学生のインターン受け入れも実施している。				4.4	5.1 5.5			8.5 10.2 10.3										16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		テレビ会議やZoomを活用した社内会議のリモートを実施している。弊社展示場・モデルハウスでの感染症対策をしている。(アルコール消毒の設置)			3					8 9.1		11 12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		OB客へのアフター体制の強化を図る為、施工管理アプリ「アンドパッド」の追加機能導入により、引渡し後における物件状況の確認・管理をしている。								8 9.1		11 12									
	21	【プライベート企業】 ・プライベート企業に認定されている。	●					3	4				8 9		12									

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		業者組織「千里会」と連携して、建物建築時の発生する有害廃棄物の把握と適切な処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		社員が通勤・業務に使用したガソリン使用料を毎月算出し社内回覧することで、エネルギーの削減と社内の節電に取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いて温室効果ガス排出量の把握をし、社内におけるエアコンの温度基準の設定、夏季のクールビズを実施している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業及び従業員の活動においてプラスチックやレジ袋の使用削減を呼びかけ、廃棄物を排出しないように取り組んでいる。					6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		資料の電子化推進により紙ゴミを削減すると共に、ゴミ分別の徹底により資源のリユース・再生利用に取り組んでいる。							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水道蛇口に節水コマを取り付けているほか、台所・洗面所・トイレ等での節水を徹底している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生エネルギーを住まいに、暮らしに活用し、「エネルギーの自給自足を目指す家(天空シリーズ)」の販売を開始した。							9.4				12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4							12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		県内に3カ所ある住宅展示場の周囲に植栽を施して緑を創出し、その保全と管理に取り組んでいる。										11.6 11.7		13.1 13.3		15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		太陽光発電で創った電気を蓄電池・電気自動車に貯め、バッテリーから取り出して家庭の電力として使用する環境にも配慮した未来型住宅(天空シリーズ)を促進している。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		社内でのごみ分別を徹底しゴミの削減に取り組んでいる。併せてマイコップの持参推奨等により、プラスチックの使用を削減している。										12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		「電気エネルギーの自給自足を目指す家(天空シリーズ)」の拡販を推進して、環境にやさしい電気自動車の使用に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●												11.6 11.a	12.8	13						17.2

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		契約いただいたお客様が入居後快適な生活を送っていただけるよう、住宅設備の取り扱い説明書を交付している。また、建築中は社内・第三者機関による検査を導入し品質の向上に取り組んでいる。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		御船町の災害公営住宅の整備(街づくり)にあたり、ユニバーサルデザイン・バリアフリーの採用によって、幅広い世代の住民の方が快適でコミュニケーションが形成される住宅の提供を行っている。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		県産木材・畳表等を使用した住宅建築に努め、地域資源の「地産地消」を推進している。		2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●									7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		太陽光発電でつくった電気を貯め、住まいや家電に効率的に使う「エネルギーの自給自足を目指す家」を提案し、「地球にも、人にも配慮した未来型住宅」を提案している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域の青少年育成を目指した宇城市少年野球チームのバックアップをしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		事業所毎にハザードマップを配置し避難経路の確認を随時実施している。また、顧客向けには商品紹介時の概要書にハザードマップを付加している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●												9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		環境負荷の少ない商品開発についてセミナーを実施したり、過去の災害(地震・台風)に関する写真集を全社員に配布して環境問題への啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		地元の高校・専門学校の学生をインターンシップとして受け入れ、地域の学生へ学びの場を提供している。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●							4.4					8.5 8.6								17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。